

恵那市地域公共交通計画について

1. 趣旨

本計画は、地域及び利用者からのニーズ及び社会情勢に適した柔軟な交通体系を構築するために、ICT等を活用した、誰もが利用しやすい新たな移動サービスの提供及びこれを生かした持続可能なまちづくりを実現するための計画である。

2. 計画の策定体制及び経過

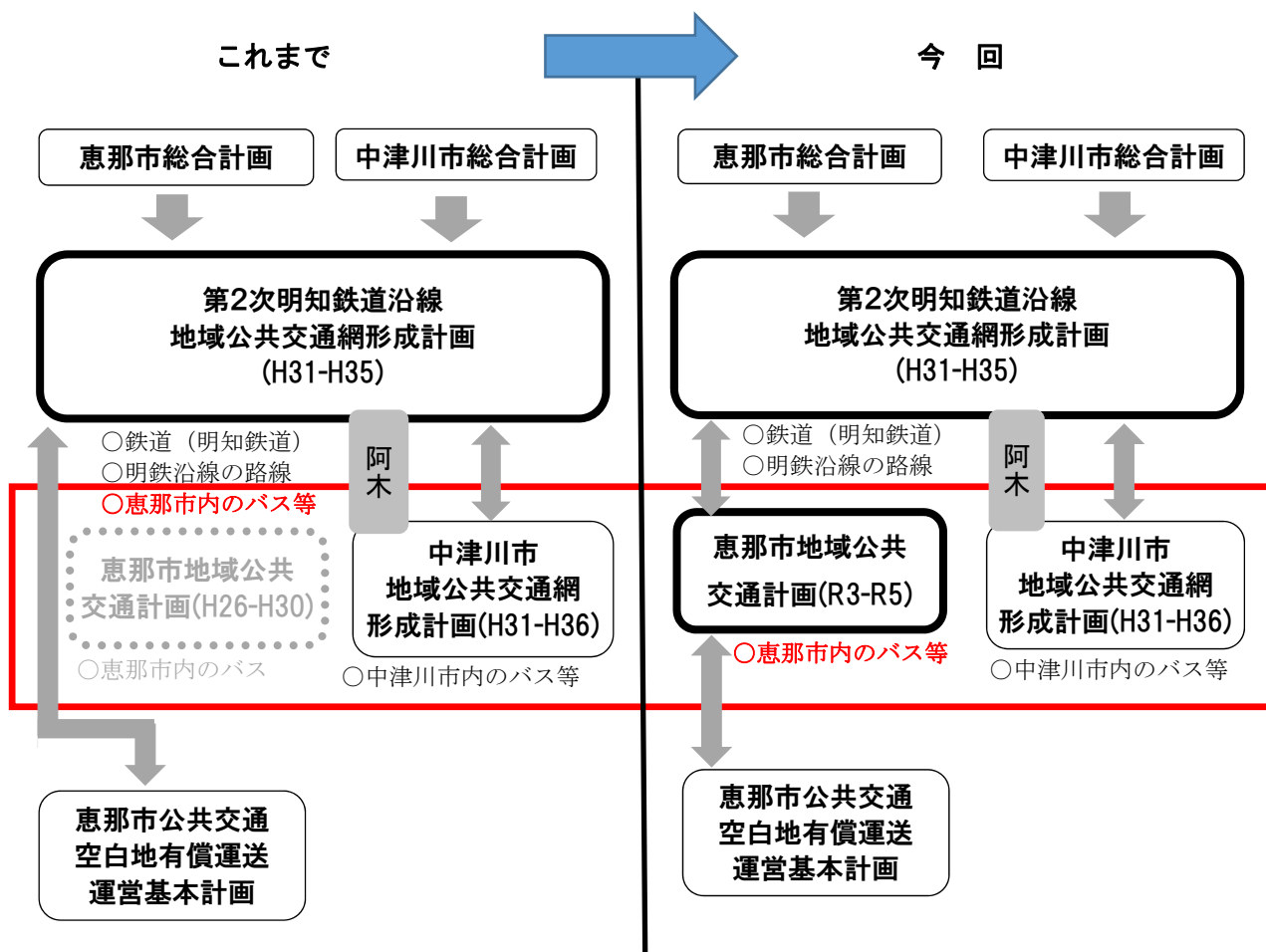
恵那市地域公共交通計画策定検討会

- (1) 委員構成 委員 17 名、アドバイザー 1 名
- (2) 検討会 5 回開催

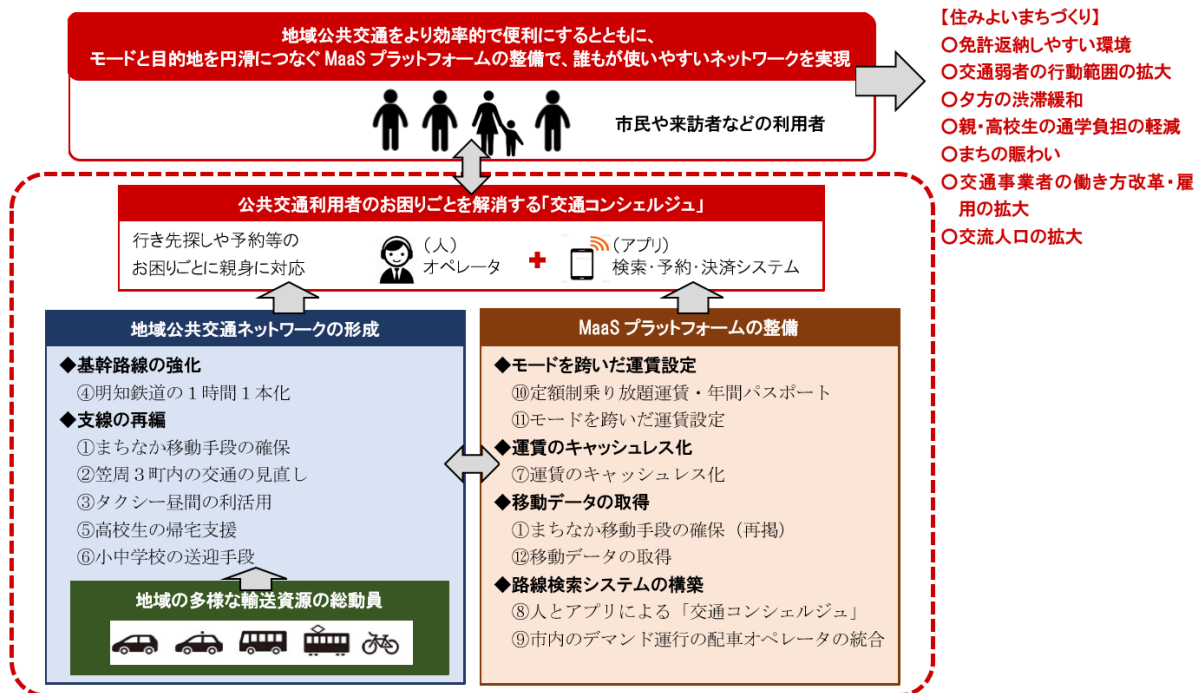
3. 計画のポイント

(1) 位置付け

第二次明知鉄道沿線地域公共交通網形成計画の中から、恵那市の公共交通部分を抽出し、重点的に実施すべき内容及び新たに実施すべき内容を具体的に定めて下位計画とする。



（２）計画の事業体系



①地域公共交通ネットワークの形成

本計画に基づき、地域の多様な輸送資源を総動員し、移動手段を確保することで最適な移動サービスを形成していく。このため、地域、事業者等の協力を得ながら、各地域及び利用者の需要を的確に把握し、現バス路線の在り方を地域と一緒にになって再検討していく。さらに、見直した内容は、本計画にも位置付けていく。

②MaaS プラットフォームの整備

運賃の統合、人又はアプリによる移動方法の情報案内等を行うことで、多様な移動手段を1つの移動サービスとして提供し、利用者が利用しやすい環境を整備していく。

4. 計画の内容

別資料『恵那市地域公共交通計画』のとおり